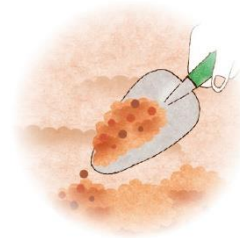
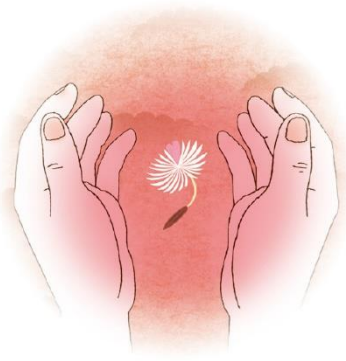


松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略

# 松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略

## 取組状況

平成30年9月6日 松山市



資料5

# 1. やりきる力「3つの礎」を構築する【基盤づくり】

## 「基本的方向」

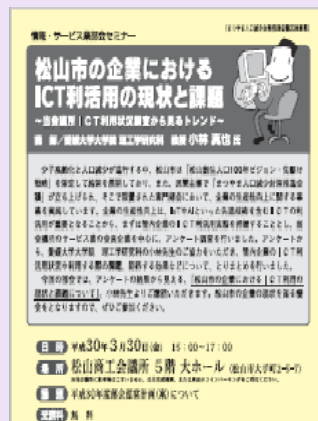
本市の人口減少対策は、その歯止めがかかるまで様々な施策を実施し、効果検証をして改善を加えながらオール松山体制で絶えず取り組んでいかななくてはなりません。そのために、まず松山市、市民、事業者、関係団体等の役割などを定める制度を構築します。また、行政だけでなく、市民が関心を持って参画するための取組や、産官学金労言などの関係団体が積極的に関与する官民一体のオール松山体制を確立するための基盤づくりに取り組みます。

## 「平成29年度の主な取組」

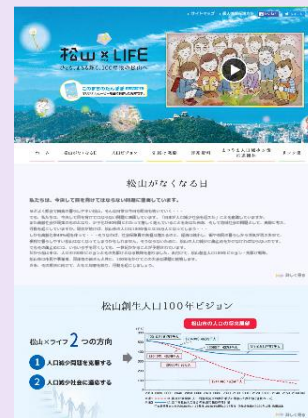
- ・まつやま人口減少対策推進会議の下部組織である「専門部会」を3部会立ち上げ、テーマに沿った事業を展開
  - ◎希望出生率実現プロジェクト【少子化対策】
  - ◎まつやま暮らし実現プロジェクト【移住定住対策】
  - ◎企業の生産性アッププロジェクト【地域経済活性化】
- ・松山市地方創生ウェブサイトを立ち上げ、人口減少対策につながる情報を提供、発信

## 「総括」

- ・様々な関係団体や市民が、それぞれの役割に基づいて人口減少対策に向け主体的に活動する、オール松山体制を確立するための基盤づくりに取り組みました。



ICTセミナー開催



地方創生ウェブサイト

# 2. つながる未来を応援する【少子化対策】

## 「基本的方向」

本市の合計特殊出生率は、全国平均や愛媛県平均を下回っている状況にあります。合計特殊出生率の向上を目指して、若い世代の就職支援による経済的安定や出会いの場の創出による結婚支援などに取り組みます。また、夫婦が理想の数の子どもをもてるよう、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実や、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、各種施策に取り組みます。

## 「平成29年度の主な取組」

- ・認定こども園の拡充、地域型保育事業の実施により、新たに449人分の保育定員を確保
- ・市立幼稚園の教室全室にエアコン整備完了
- ・放課後児童クラブ・子ども教室の整備
- ・未婚者の親が参加する婚活交流会を開催

## 「総括」

- ・待機児童対策や放課後児童対策を着実に進めるとともに、未婚化・晩婚化を抑制するため、未婚者の親が参加する婚活交流会など、実効性のある婚活イベントを実施し、出会いの場を創出しました。



幼稚園エアコン整備



婚活イベント・婚活交流会実施



放課後児童クラブ室整備



### 3. 松山への定着と新しい人の流れをつくる【移住定住対策】

#### 「基本的方向」

本市は、転入と転出の差である社会移動数が概ね均衡の状態ですが、首都圏・関西圏をはじめとする県外への若者の転出超過が顕著であり、今後は、全体的に転出超過が常態化することも懸念されます。また、本市には多くの大学・専修学校があり、常に約2万人の学生が在籍しており、これら学生に対する働きかけが非常に重要です。そこで、特に首都圏・関西圏からのIターン・Uターンの促進、学生を中心とした若者世代の流入・定着促進に軸を置きながら、移住定住に係る様々な取組を実施します。

#### 「平成29年度の主な取組」

- ・移住フェアへの出展、移住ツアーの開催
- ・興居島体験滞在型交流施設（お試し移住）供用開始
- ・若者定住ガイドブックの配布や高校への出前講座による、高校生の定住と将来のUターンの促進

#### 「総括」

- ・移住フェアへの出展や移住ツアーの開催、空き家バンクの運営などにより、移住を促進するとともに、高校生に松山の暮らしやすさを発信し、若者の定住に向け取り組みました。



移住フェアへの出展



興居島体験滞在型交流施設



若者定住ガイドブック

### 4. 魅力ある仕事と職場をつくる【地域経済活性化】

#### 「基本的方向」

本市人口減少対策の積極戦略である「少子化対策」と「移住定住対策」の推進をしっかりと下支えするために、地域経済の活性化に積極的に取り組んでいきます。中でも本市事業所の約9割を占める既存中小企業の支援や新たな産業の立地促進、新ビジネスの創出などをサポートします。また、各分野の産業競争力の強化を図り、良質な雇用の場の創出や人材育成などを推進していきます。

#### 「平成29年度の主な取組」

- ・松山圏域中小企業販路開拓市の開催等による中小企業の振興
- ・えひめ産業立地フェアへの参加や、奨励金制度の拡充による産業の立地促進
- ・「グニーユーカリ」の農林水産物ブランド認定や、柑橘等も含めたトップセールスによる農林水産業の成長産業化
- ・戦略的観光振興による経済活性化

#### 「総括」

- ・関係機関と連携して各種支援事業を実施し、企業誘致や創業支援、産業競争力の強化を図るとともに、女性の活躍支援や中小企業支援などに取り組みました。



中小企業販路開拓市



グニーユーカリを農林水産物ブランドに認定

## 5. 暮らしと経済を守る【暮らしと経済まちづくり】

### 《基本的方向》

人口減少が進むなか、持続可能な地域社会を構築するためには、地域特性を生かした産業の振興や民間投資の促進を図ることが求められます。また、都市のコンパクト化と地域間連携を進め、市民が地域に愛着を持って安心して健康な生活が営まれるように、市民の暮らしと経済を守るためのまちづくりを進めていきます。

### 《平成29年度の主な取組》

- ・立地適正化計画（都市機能誘導区域）の策定・公表
- ・主要避難所である高校・大学6校に指定避難所に必要な資機材を配備（市立小・中学校には全て配備済）
- ・松山圏域連携中枢都市圏の連携事業を推進
- ・太陽光発電利用者（個人・法人）に補助金を交付
- ・MACネットCSCに災害時位置情報通知アプリを提供
- ・「俳句甲子園」や「坂の上の雲ふるさとウォーク」などの開催やまちづくり協議会の設置などにより、市民が主体となり、地域特性を生かしたまちづくりを推進

### 《総括》

- ・立地適正化計画の策定や連携中枢都市圏での事業推進等により、本市のよりよい地域経済・生活圏の形成に取り組みました。
- ・指定避難所の整備や災害用トイレの設置、防災ネットワークの充実により、安心して健康な暮らしの確保に努めました。
- ・大学生防災士の養成では愛媛大学のほか、市内3大学の学生も受講できる環境を整えました。
- ・「俳句甲子園」や「坂の上の雲ふるさとウォーク」など、地域特性を生かした取組を実施しました。



太陽光発電利用者への補助



俳句甲子園の開催



緊急時にイマココ情報（自分の居場所）を、あらかじめ設定した家族等にボタンひとつで送信可能。メールよりも早く届く仕組み。



MACネットCSC



大学生防災士の養成



ひとつも、まちも輝く、100年後の松山へ



平成30年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議 資料  
まつやま人口減少対策推進会議事務局  
(松山市総合政策部企画戦略課)